

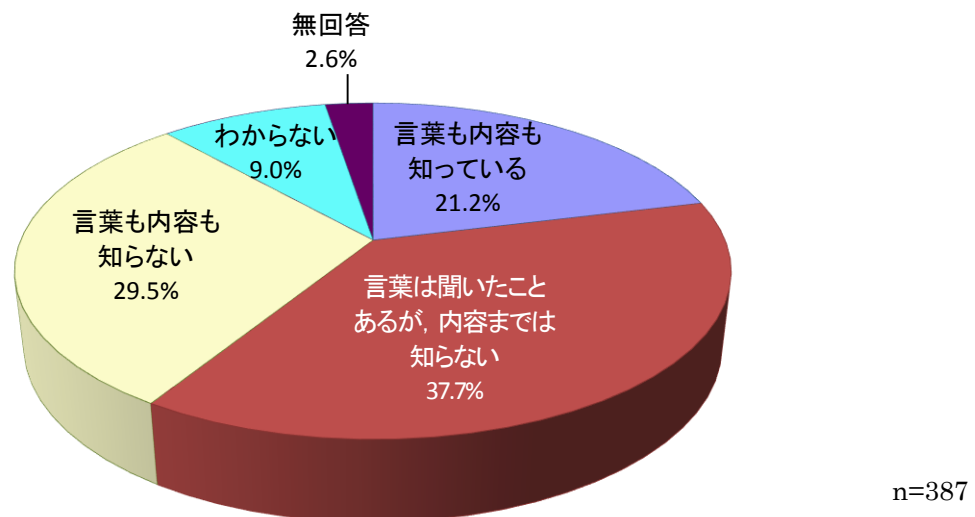
3. 男女共同参画について

(1) 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度

◇ 「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が4割弱

| | | |
|----|---|--------|
| 問7 | あなたは、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」という言葉について、どの程度知っていますか。 | (○は1つ) |
| | | n=387 |
| 1 | 言葉も内容も知っている | 21.2% |
| 2 | 言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない | 37.7% |
| 3 | 言葉も内容も知らない | 29.5% |
| 4 | わからない | 9.0% |
| | (無回答) | 2.6% |

<図IV-3-1>全体



「ワーク・ライフ・バランス」の認知度については、「言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない」が37.7%と最も高く、次いで「言葉も内容も知らない」が29.5%、「言葉も内容も知っている」が21.2%と続いている。(図IV-3-1)

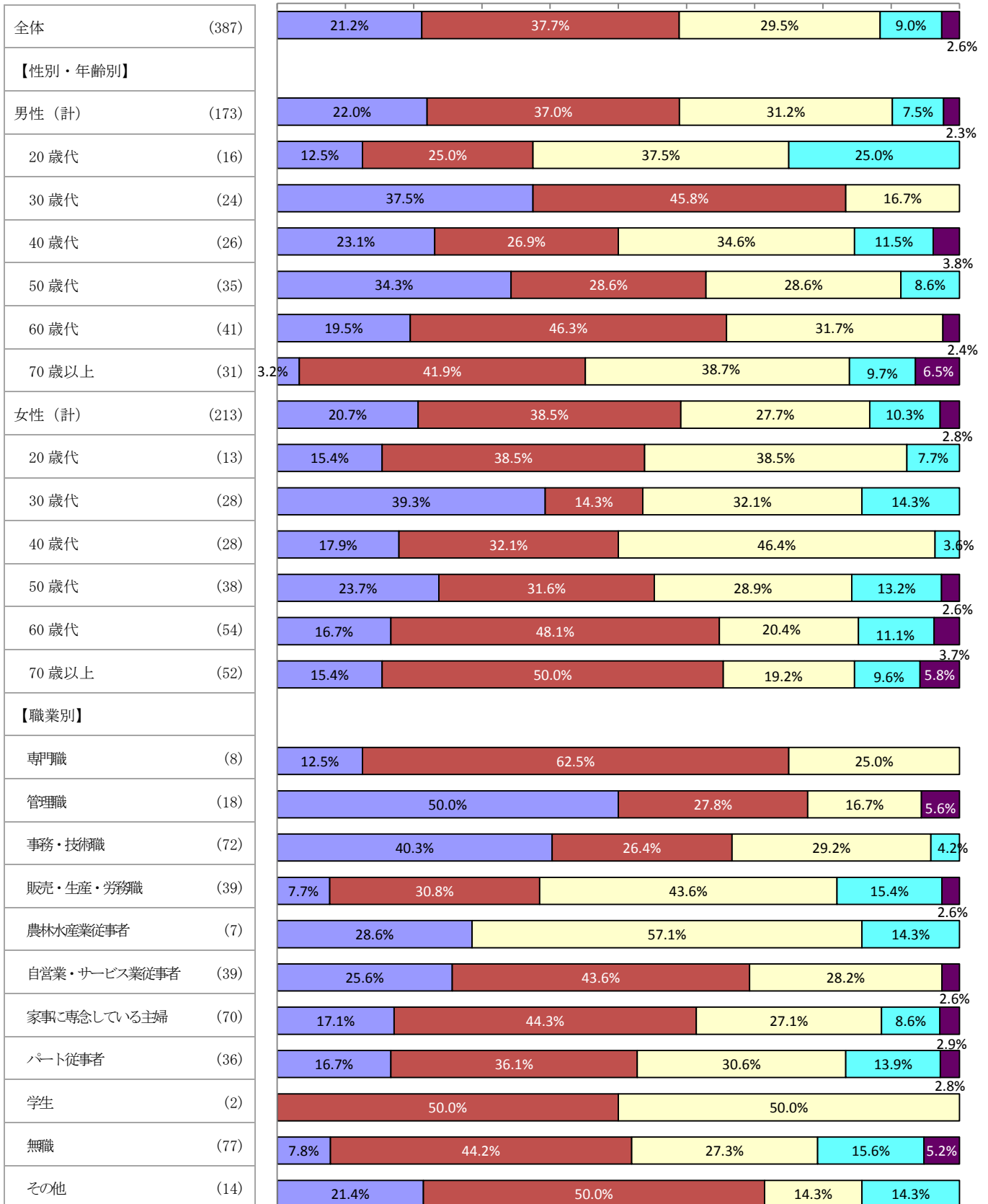
性別・年齢別でみると、「言葉も内容も知っている」は<女性/30歳代>の39.3%が最も高く、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」は<女性/70歳以上>の50.0%、「言葉も内容も知らない」は<女性/40歳代>の46.4%が最も高かった。(図IV-3-2)

職業別でみると、「言葉も内容も知っている」は管理職の50.0%が最も高く、「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」は専門職の62.5%が最も高かった。(図IV-3-2)

<図IV-3-2>性別・年齢別/職業別

■ 言葉も内容も知っている ■ 言葉は聞いたことはあるが、内容までは知らない
■ 言葉も内容も知らない ■ わからない
■ 無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

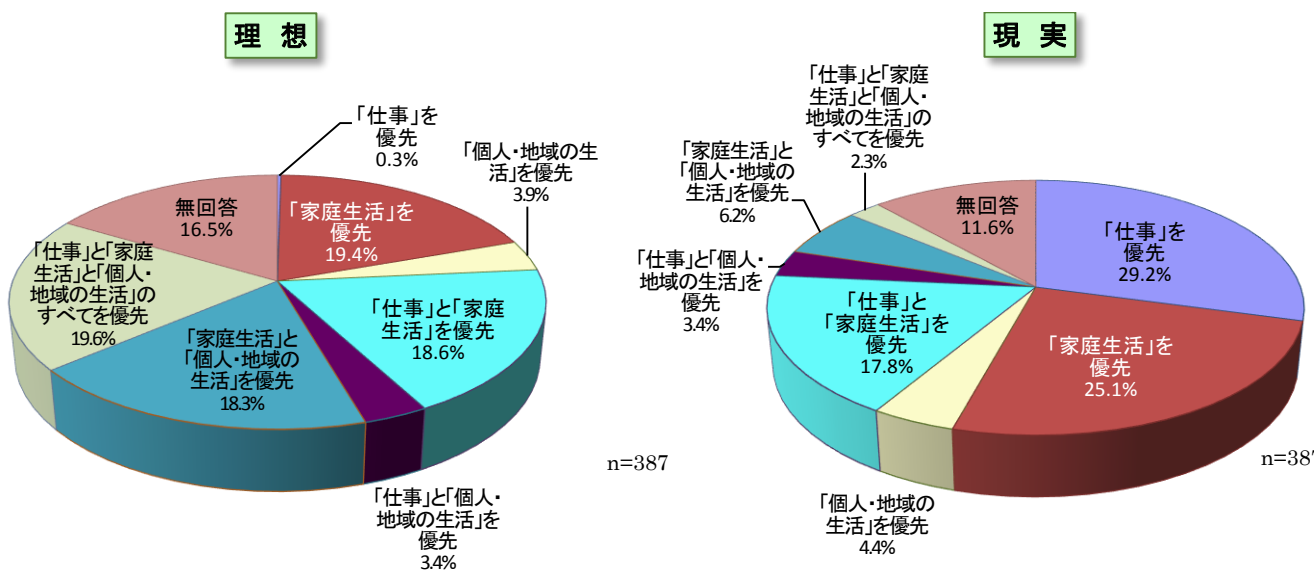


(2) 生活の中で何を優先するか

◇【理想】では「『仕事』と『家庭生活』と『個人・地域の生活』のすべてを優先」と「『家庭生活』を優先」が約2割，【現実】では「『仕事』を優先」が約3割

| 問 8 | 生活の中での、仕事、家庭生活（家族と過ごすこと、家事、育児など）、個人・地域の生活（趣味、娯楽、ボランティア活動、自治会活動など）のうち、何を優先しますか。 | 【理想】と【現実】について、それぞれ1つずつあてはまる番号に○をつけてください。 | |
|-----|--|--|---------------|
| | | n=387 【理想】 | n=387 【現実】 |
| 1 | 「仕事」を優先 | 0.3% | 29.2% |
| 2 | 「家庭生活」を優先 | 19.4% | 25.1% |
| 3 | 「個人・地域の生活」を優先 | 3.9% | 4.4% |
| 4 | 「仕事」と「家庭生活」を優先 | 18.6% | 17.8% |
| 5 | 「仕事」と「個人・地域の生活」を優先 | 3.4% | 3.4% |
| 6 | 「家庭生活」と「個人・地域の生活」を優先 | 18.3% | 6.2% |
| 7 | 「仕事」と「家庭生活」と「個人・地域の生活」のすべてを優先 | 19.6% | 2.3% |
| | (無回答) | 16.5% | 11.6% |

<図IV-3-3>全体



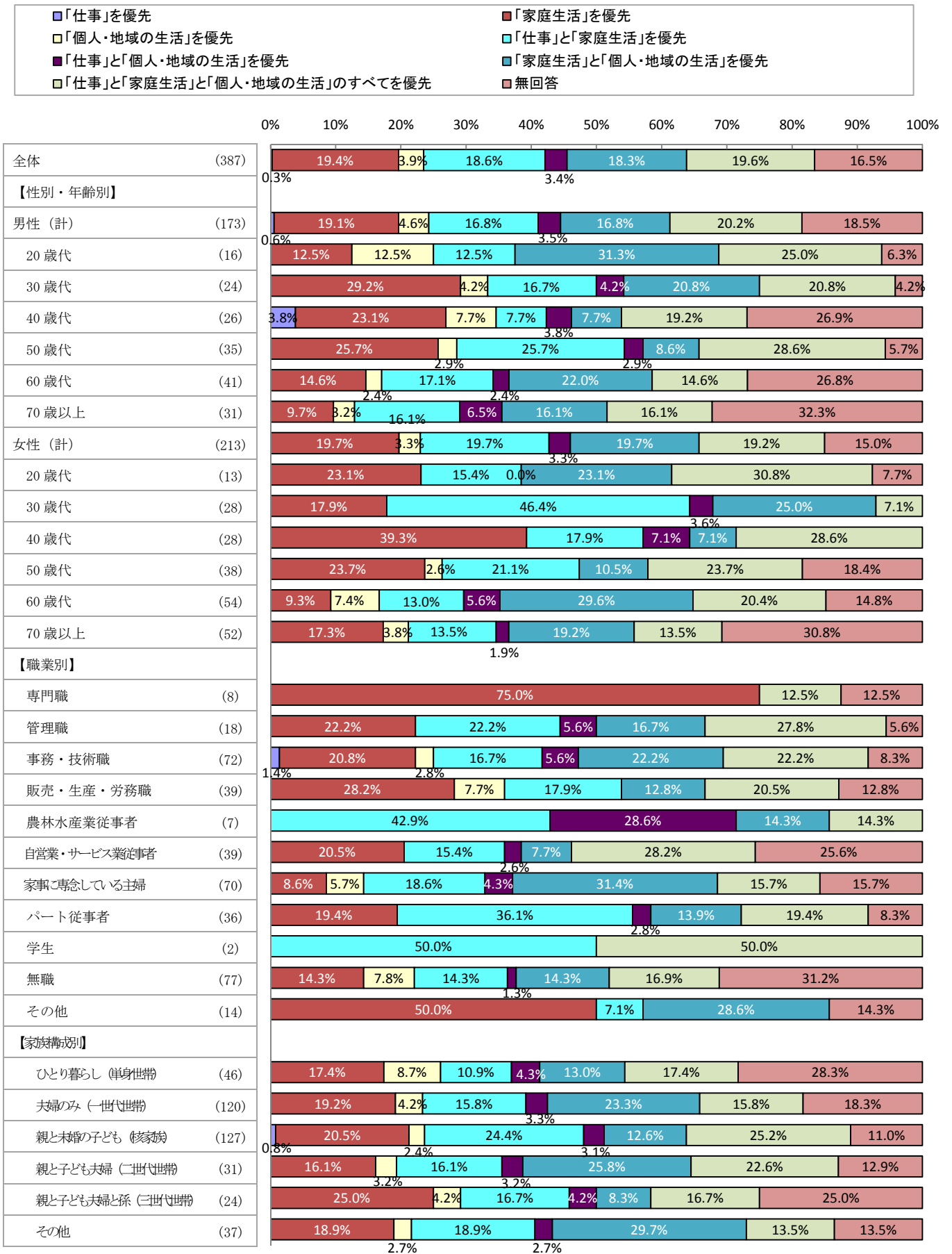
生活の中で何を優先するか【理想】では、「『仕事』と『家庭生活』と『個人・地域の生活』のすべてを優先」が19.6%と最も高く、次いで「『家庭生活』を優先」が19.4%、「『仕事』と『家庭生活』を優先」が18.6%と続いている。

生活の中で何を優先するか【現実】では、「『仕事』を優先」が29.2%と最も高く、次いで「『家庭生活』を優先」が25.1%、「『仕事』と『家庭生活』を優先」が17.8%と続いている。(図IV-3-3)

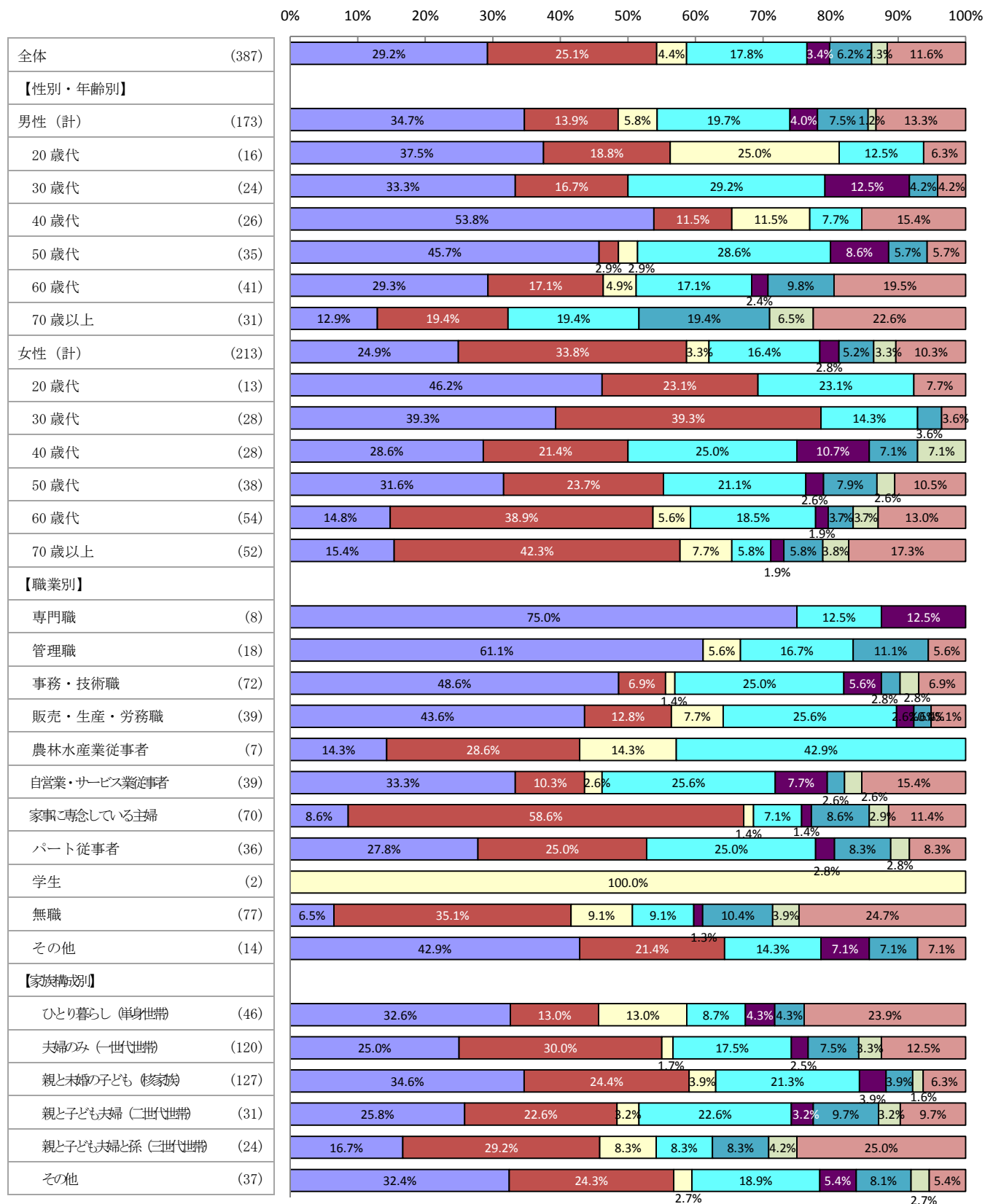
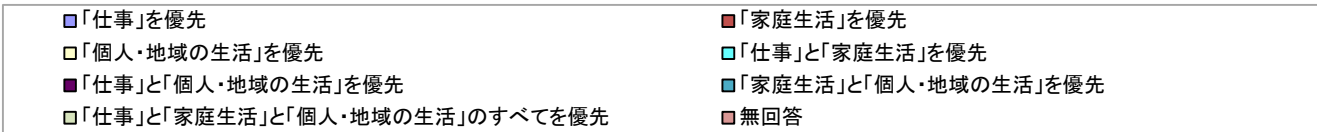
【理想】と【現実】を比較してみると、「『仕事』を優先」(0.3%・29.2%)が28.9ポイントと最も差が出ている。次いで、「『仕事』と『家庭生活』と『個人・地域の生活』のすべてを優先」(19.6%・2.3%)が17.3ポイント、「『家庭生活』と『個人・地域の生活』を優先」(18.3%・6.2%)が12.1ポイントの差となっている。(図IV-3-3)

性別・年齢別、職業別、家族構成別ともに、「『仕事』を優先」のギャップが著しいのが見られた。(図IV-3-4)(図IV-3-5)

<図IV-3-4>性別・年齢別/職業別/家族構成別（理想）



<図IV-3-5>性別・年齢別/職業別/家族構成別（現実）

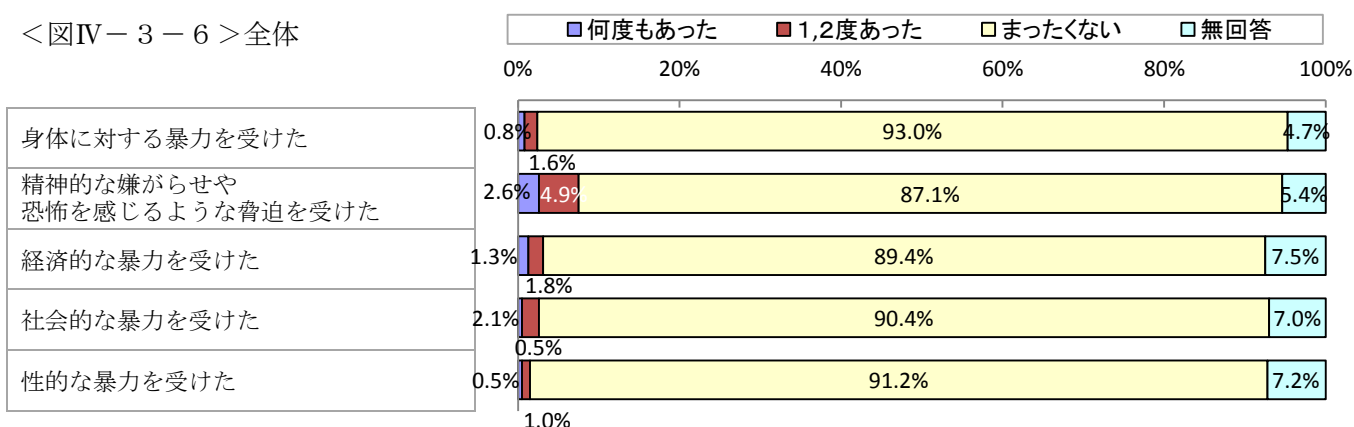


(3) 配偶者等からの暴力を受けた経験

◇ 「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」が1割弱

| 問9 | 過去2年間に夫や妻、恋人から、次のような暴力を受けたことがありますか。次の各項目について、あてはまる番号に○をつけてください。 | n=387 | | | |
|----|---|--------|----------|--------|------|
| | | 何度もあった | 1, 2度あった | まったくない | 無回答 |
| 1 | 身体に対する暴力を受けた（殴る、蹴るなど） | 0.8% | 1.6% | 93.0% | 4.7% |
| 2 | 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた（大声で怒鳴る、待ち伏せをするなど） | 2.6% | 4.9% | 87.1% | 5.4% |
| 3 | 経済的な暴力を受けた（生活費を渡さない、支出を細かく監視するなど） | 1.3% | 1.8% | 89.4% | 7.5% |
| 4 | 社会的な暴力を受けた（携帯電話を壊す、親族や友人との付き合いを制限するなど） | 0.5% | 2.1% | 90.4% | 7.0% |
| 5 | 性的な暴力を受けた（性行為を強要する、避妊に協力しないなど） | 0.5% | 1.0% | 91.2% | 7.2% |

<図IV-3-6>全体



過去2年間に、夫や妻、恋人から暴力を受けたことがあるかについて、「何度もあった」と「1, 2度あった」を合わせた【経験あり(計)】の割合は、「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」が7.5%で最も高く、次いで、「経済的な暴力を受けた」が3.1%、「社会的な暴力を受けた」が2.6%、「身体に対する暴力を受けた」が2.4%であった。(図IV-3-6)

さらに暴力の種類ごとに性別・年齢別において、【経験あり(計)】が最も多いものは、「身体に対する暴力を受けた」は<女性/50歳代>が7.9%、「精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた」は<男性/20歳代>が18.8%、「経済的な暴力を受けた」は<男性/40歳代>が7.7%、「社会的な暴力を受けた」は<女性/50歳代>が7.9%、「性的な暴力を受けた」は<女性/50歳代>が5.2%であった。

(図IV-3-7～図IV-3-11)

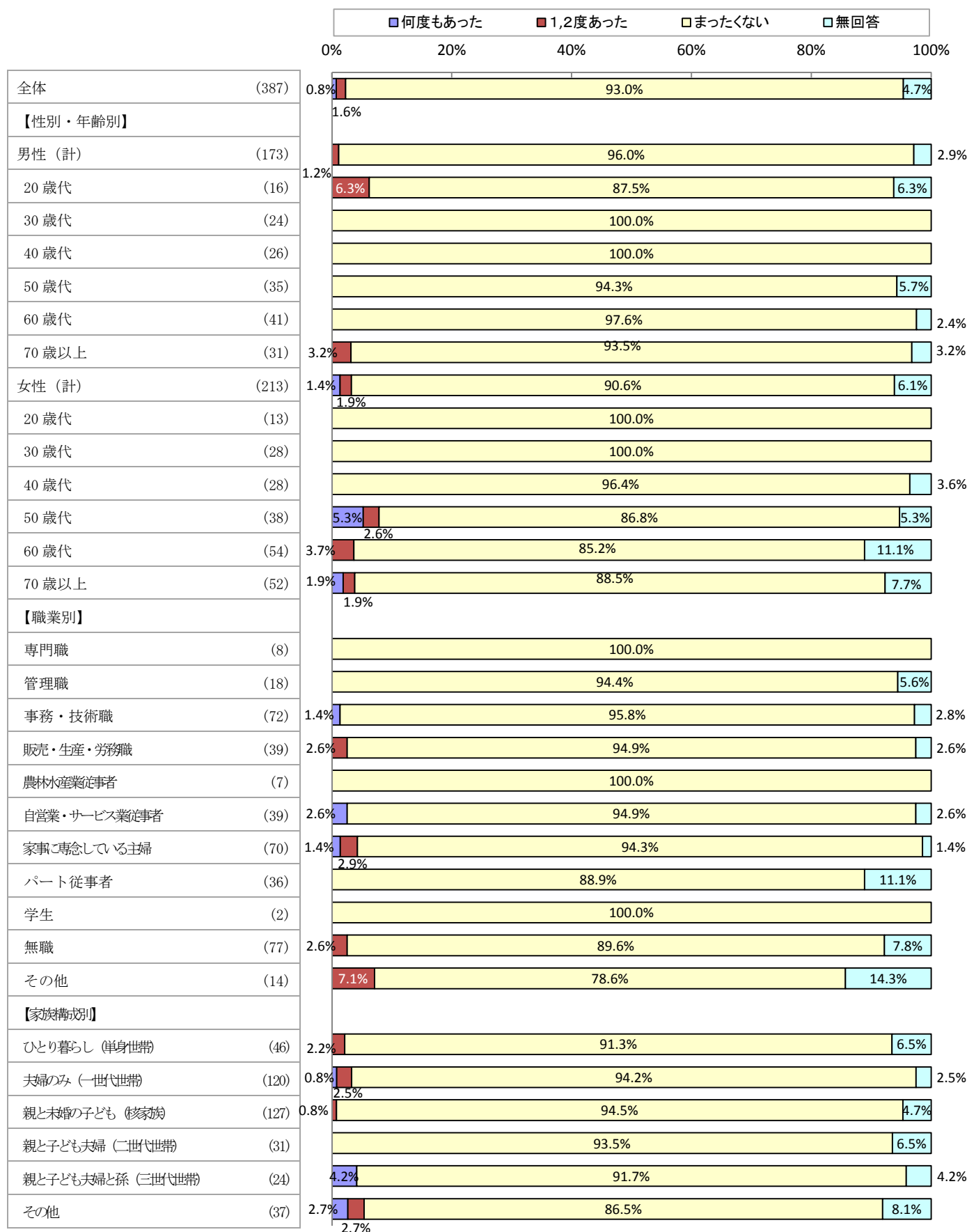
暴力を受けたことがある(総合)について、性別・年齢別でみると、【経験あり(計)】の割合は、<女性/50歳代>6.8%が最も高かった。(図IV-3-12 総合)

職業別でみると、【経験あり(計)】の割合は、<家事に専念している主婦>の4.9%が最も高かった。(図IV-3-12 総合)

家族構成別でみると、【経験あり(計)】の割合は、<親と子ども夫婦と孫三世帯世帯>が5.0%で最も高かった。(図IV-3-12 総合)

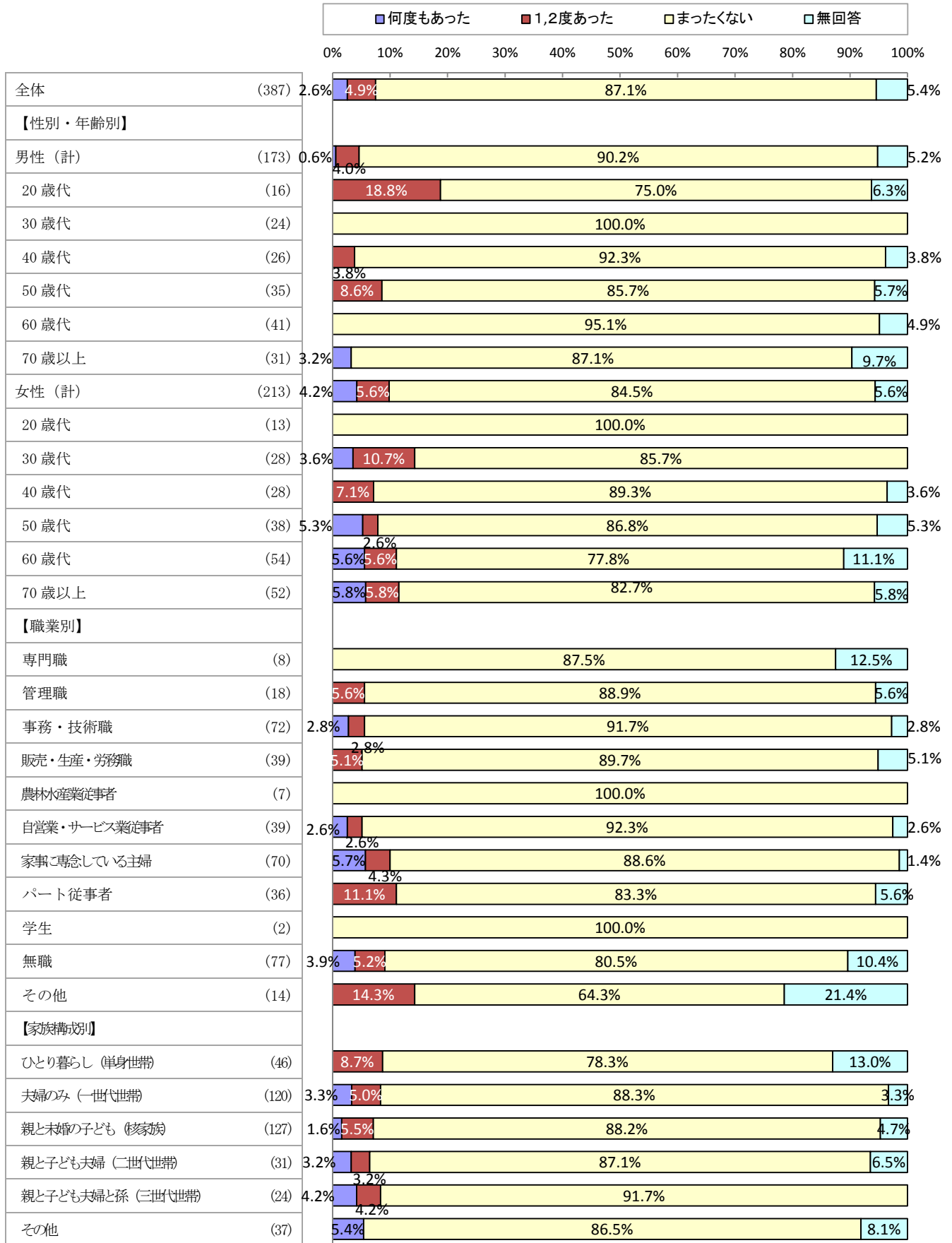
①身体に対する暴力を受けた

<図IV-3-7>性別・年齢別/職業別/家族構成別



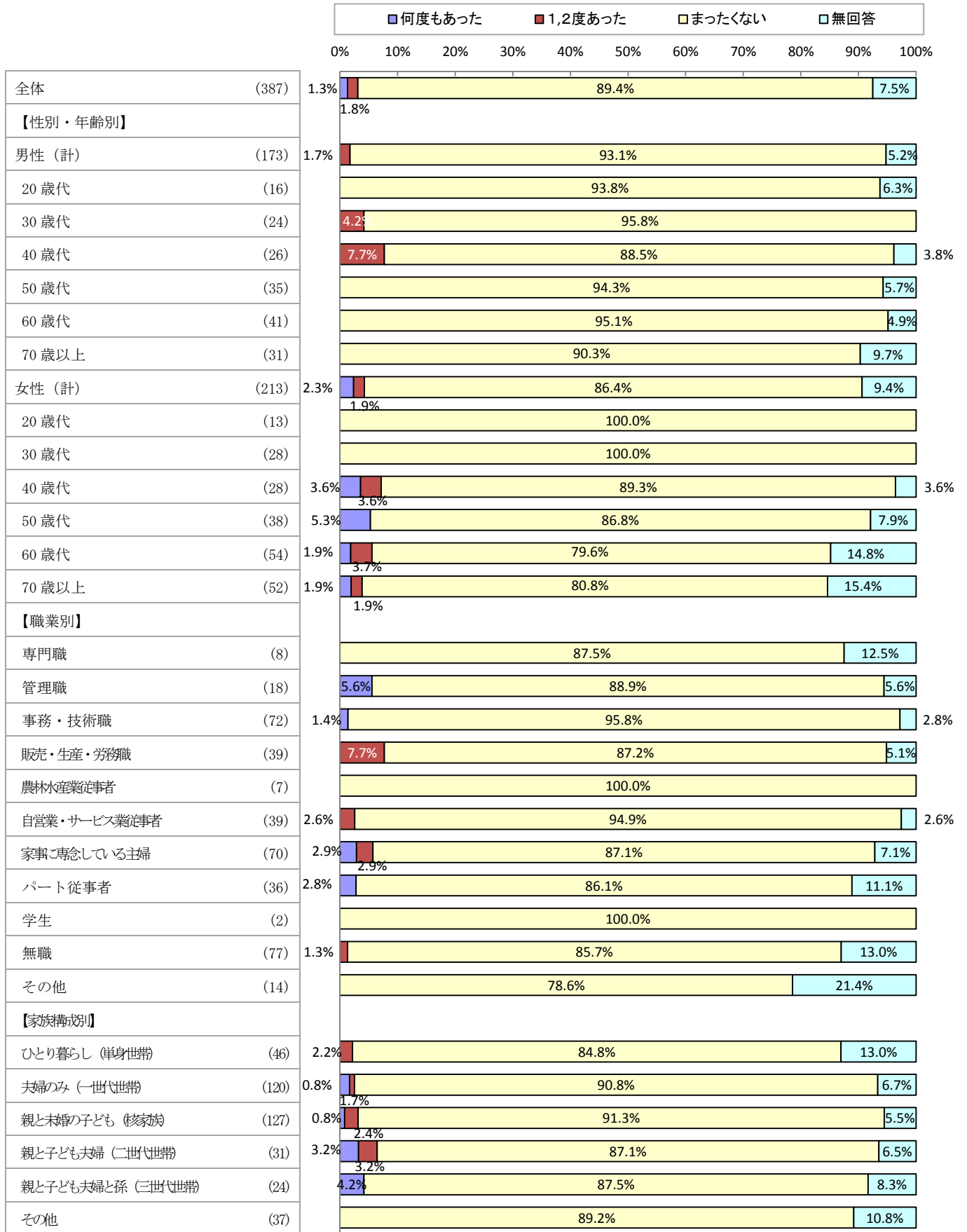
②精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた

<図IV-3-8>性別・年齢別/職業別/家族構成別



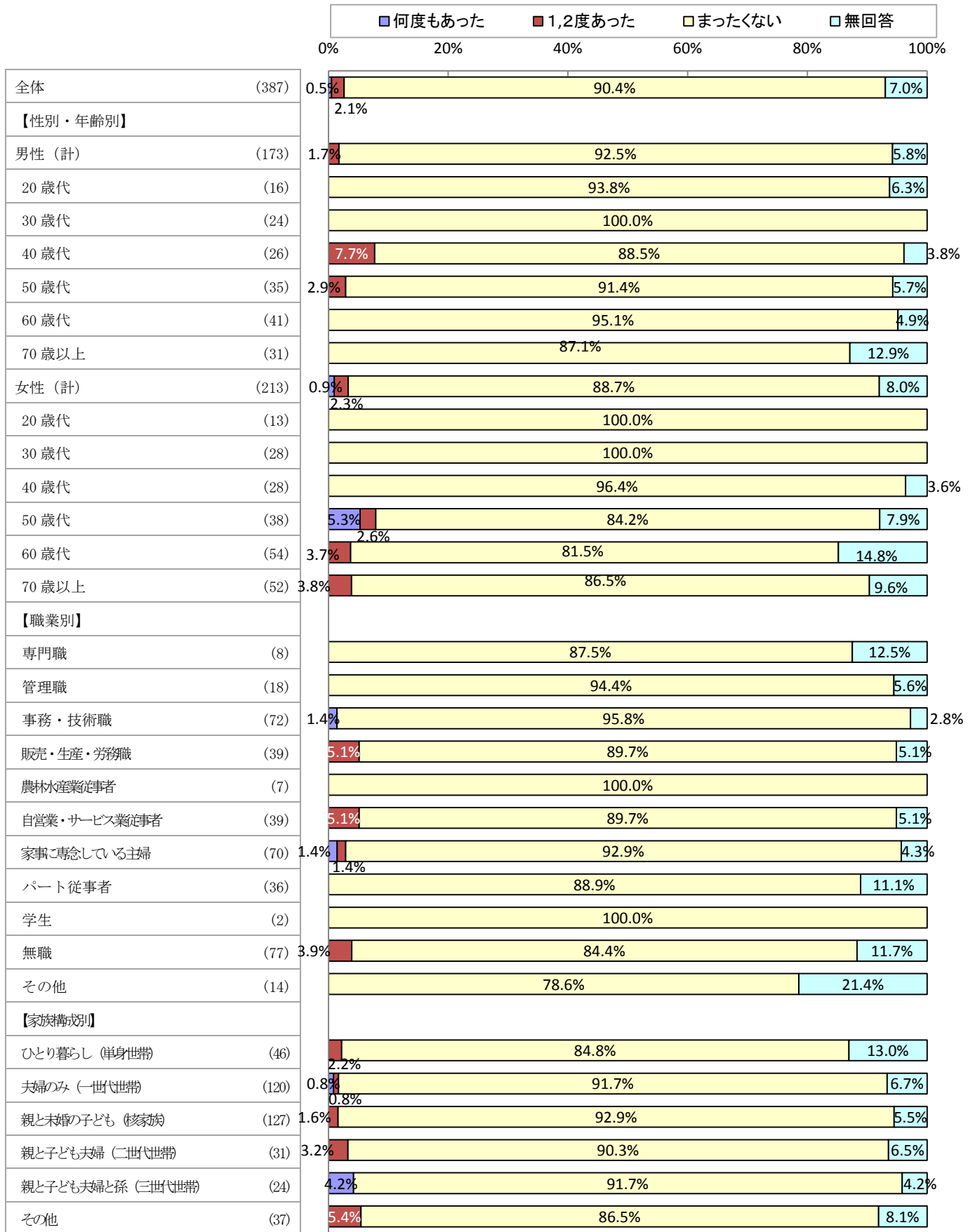
③経済的な暴力を受けた

<図IV-3-9>性別・年齢別/職業別/家族構成別



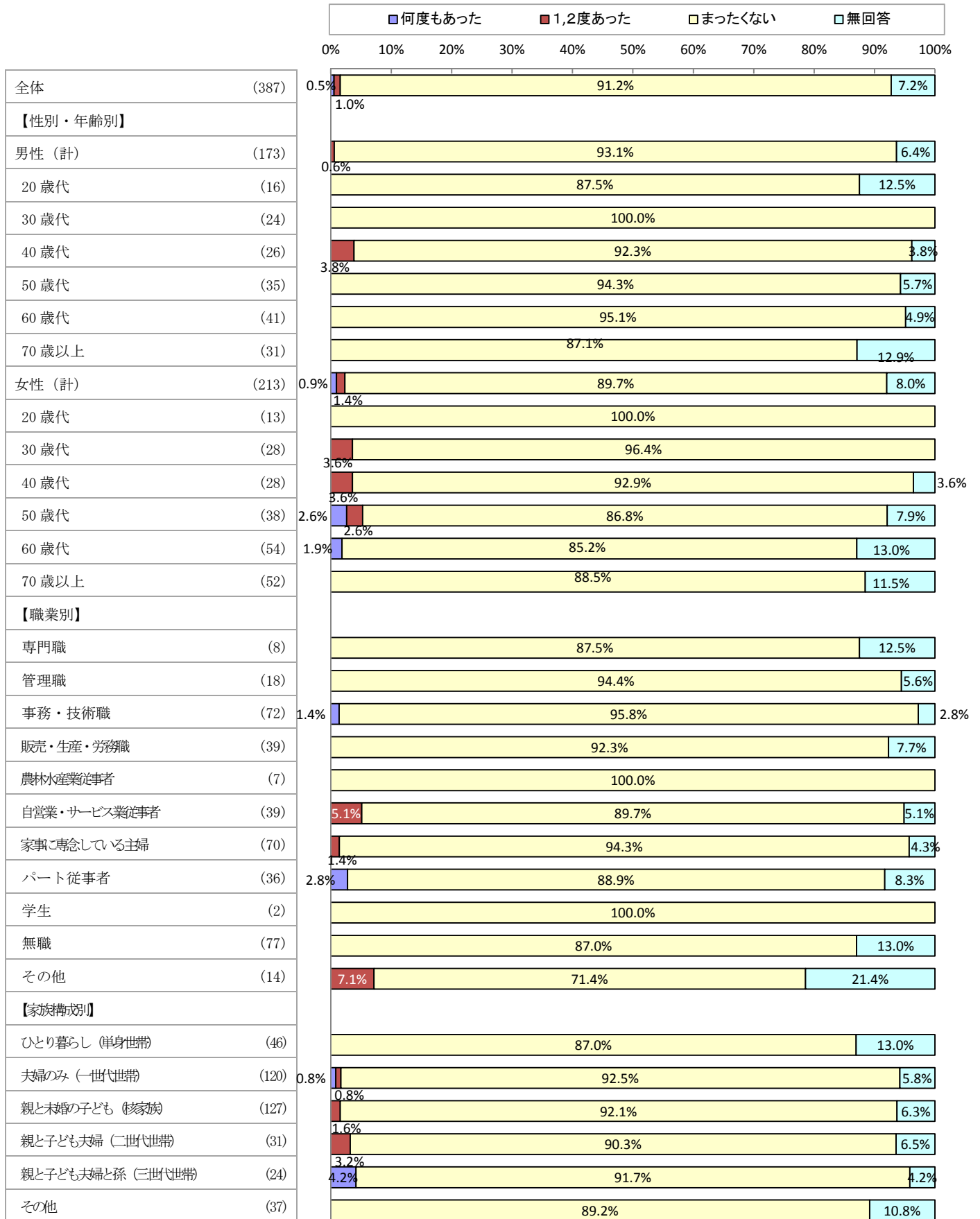
④社会的な暴力を受けた

<図IV-3-10>性別・年齢別/職業別/家族構成別



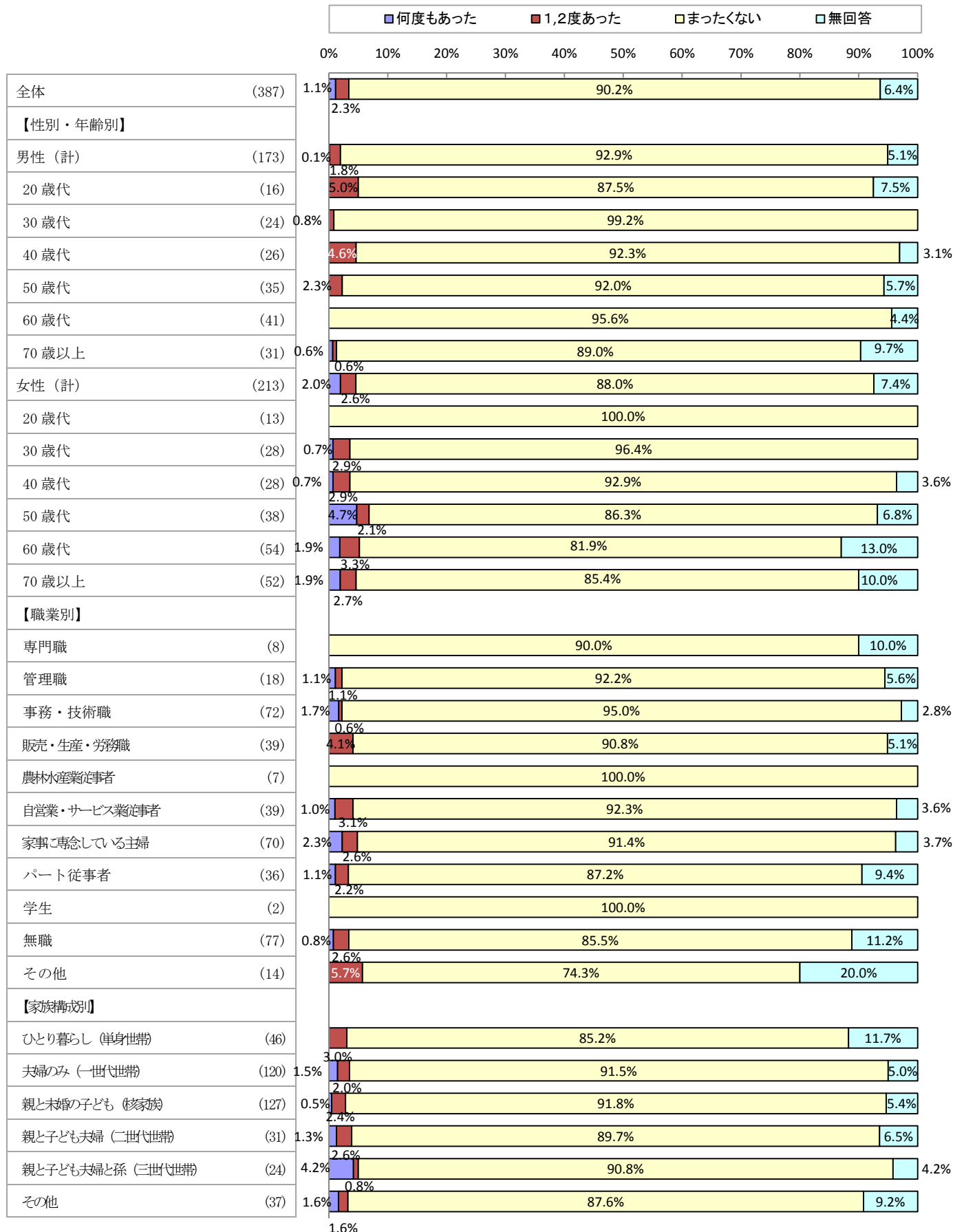
⑤性的な暴力を受けた

<図IV-3-11>性別・年齢別/職業別/家族構成別



● 暴力を受けたことがある（総合）

<図IV-3-12> 性別・年齢別/職業別/家族構成別

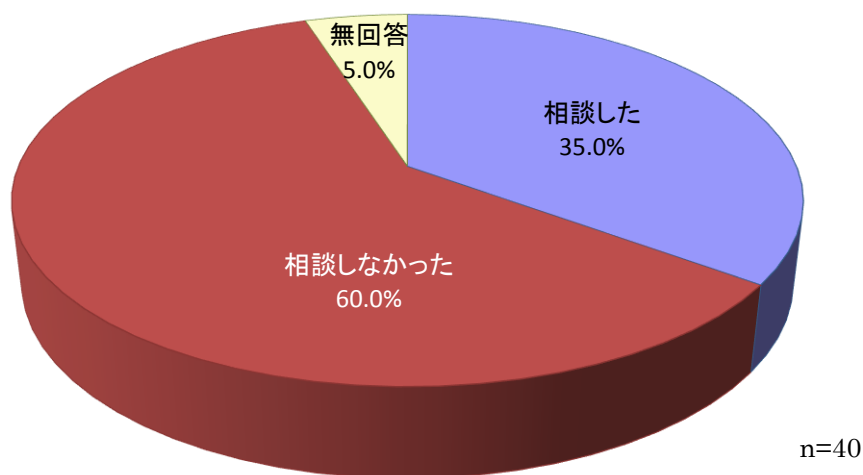


(3-1) 暴力を受けたときに誰かに相談したか

◇ 「相談しなかった」が6割

| | | |
|-----|--|---------------|
| 問10 | 問9で、いずれかの暴力を受けたことが「何度もあった」「1, 2度あった」と回答した人にお聞きします。あなたは、夫や妻、恋人から暴力を受けたときに、誰かに相談しましたか。 (○は1つ) | n=40 |
| 1 | 相談した | 35.0% |
| 2 | 相談しなかった (無回答) | 60.0% 5.0% |

<図IV-3-13>全体



夫や妻、恋人から暴力を受けたときに、誰かに相談したかについて、「相談しなかった」が 60.0%、「相談した」が 35.0%だった。(図IV-3-13)

性別・年齢別でみると、「相談した」は<女性/50歳代>が 60.0%で最も高かった。(図IV-3-14)

家族構成別でみると、<夫婦のみ(一世代世帯)>が 28.6%で最も低かった。(図IV-3-14)

<図IV-3-14>性別・年齢別/職業別/家族構成別

